

# 参議院比例代表選挙

## 自見はなこ氏2期目当選!!

第26回参議院議員通常選挙は、7月10日投開票が行われた。比例代表（全国区）に日本医師連盟推薦（自民党公認）で立候補していた自見はなこ氏は、21万3369票（自民党8位）で2期目の当選を果たし、1期目にくらべおよそ3千票を上積みし、初当選時と同様に自民党公認の医療・介護・社会保障関係10名のうち、トップの成績での当選であった。

**社会保障関係の候補者が乱立する厳しい選挙戦を勝ち抜いた**

開票当日は、自見はなこ氏が十九時十分頃に日本医師会館へ到着、十九時三十分過ぎから、松本吉郎「自見はなこ」後援会会長をはじめ日医連役員、羽生田たかし参議院議員、全国の医師連盟役員が、日医会館一階ロビーに参集し、支援団体・関係者とともに開票の様子を見守った。十九時五十五分に、七月八日に凶弾に倒れた安倍晋三元内閣総理大臣の死を悼み、参加者全員で黙祷を捧げた。

二十時の開票開始からほどなくして、マスコミ報道にて福島選挙区において医師で自民党公認の星北斗氏の当選が流れると大きな拍手が沸き起こった。そして司会を務める釜淵敏常任執行委員が、某放送局ホームページで、自見氏の当選確実が出たことを伝えると、会場内はいっそう大きな歓声と拍手に包まれ、自見氏は支援者に深々と頭を下げた。



7月10日 ダルマに目を入れる自見氏

写真で振り返る  
**参院選**



6月22日 出陣式でガンパロー



6月24日 総決起大会で挨拶



6月24日 満員の総決起大会会場



6月22日 遊説スタート



7月10日 当選報告会で茂松茂人日本医師会副会長より花束贈呈



7月9日 選挙戦最終日の街頭演説（小倉）



6月26日 小倉で街頭演説



自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



松本吉郎日本医師連盟委員長をはじめ、日本医師連盟の先生方には平素より多大なご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。六月二十二日公示、七月十日投票で行われた第二十...

ご期待に応えるべく、わが国の社会保障を巡る諸課題に全力で取り組みます。二期目の抱負(医療政策) 少子高齢化の進展、円安やエネルギー価格上昇による経常収支の悪化など、社会保障費の確保が一段と厳しさを増してきま...

二期目の抱負(介護政策) 一期目では、介護現場でのコロナ対策をはじめ、介護従事者の処遇改善や、厚生労働大臣政務官として「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」創設に携わると、介護の充実と尽力して参りました。また、災害時における医療・介護・福祉の連携強化やD・W・A・Tの活躍推進にも努めました。介護報酬改定においても、二〇一八年、二〇二一年と二期連続でプラス改定を勝ち取ることができました。こうした流れをさらに加速して、二〇二四年の改定に向けてよりい...

二期目の抱負(福祉政策) 一期目では、超党派脳卒中・循環器病対策フォーラムアップ議員連盟事務局長として、脳卒中や心臓病等のリハビリ支援体制の充実に取り組んだほか、成育基本法推進議員連盟事務局長としても、成育基本法や医療的ケア児支援法を通じて乳幼児の股関節脱臼・臼蓋形成不全、難聴、視覚異常、学童期における側弯症などの早期発見・支援の充実などに尽力したほか、難聴対策推進議員連盟事務局長として難聴児の療育や高齢者の適切な補聴器へのアクセス推進でも大きな進展がありました。予算の拡充や、担い手となる人材の育成を大きく進めて参ります。二期目の抱負(こども政策) 初当選以来、こども政策の総合的な司令塔となる省庁の新設を目指して参りました。二〇一八年十二月に議員立法で成立した成育基本法にも「行政組織の在り方等の見直し」を規定し、二〇二二年二月からはChildren Firstの子ども行政のあり方勉強会を山田太郎参議院議員と...



6月28日 群馬県遊説



6月29日 茨城県遊説



7月9日 福岡県街頭演説

・重症化リスクの高いコロナ自宅療養患者への電話等初再診の追加的対応(一日につきプラス百四十七点) ・高齢者施設等への看護職員派遣に対する補助引上げ(一時間当たり五千五百二十円) ↓八千二百八十円

たタイミングにより六月議会に間に合った自治体が大変少なかったのが現状です。今後、地方公共団体において予算化するためには、八月上旬までに各自治体内で働きかけがなければ、九月議会等で審議する補正予算案の項目に入りません。また、予算規模が大きくなるため、交付金の積み増しも必要になります。こうした状況を受けて、七月二十六日の自民党厚生労働部会で本件を議題として審議しました。医療・介護・福祉事業者に対する臨時交付金による支援の確実な実施と、臨時交付金を積み増して支援にかかる財源の確保を自民党としても強く政府に求めるべきだと私も発言し、厚生労働省からも臨時交付金の積み増し要求をしていくと回答がありました。その結果、八月十五日には岸田文雄内閣総理大臣が臨時交付金の増額を表明されました。予備費等を活用した具体的な対策は、九月上旬に内閣府でとりまとめます。現場を支えるため、引き続き緊張感をもって取り組んで参ります。ご指導とご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。 自民党医療系議員団新型コロナウイルス対策本部緊急提言(八月五日) コロナの感染者数拡大が続くなかで、保健所や医療・介護現場に大きな負担がかかっており、重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のある方、妊婦や小児の診療等への影響も懸念されます。人的・物的資源に限界もある状況で、通常医療とコロナ医療を守るため、自民党医療系議...



8月12日 首相公邸(旧官邸)にて



当選確定後、自民党本部にて松本吉郎後援会長と



7月10日 日本医師会館にて当選報告会

二期目の抱負(こども政策) 初当選以来、こども政策の総合的な司令塔となる省庁の新設を目指して参りました。二〇一八年十二月に議員立法で成立した成育基本法にも「行政組織の在り方等の見直し」を規定し、二〇二二年二月からはChildren Firstの子ども行政のあり方勉強会を山田太郎参議院議員と...

医療機関への財政支援措置の延長実現 新型コロナウイルス感染症の第七波が訪れ、医療提供体制が逼迫するなか、七月末までとぎれてきた新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制整備のため、以下の財政支援措置について、九月三十日まで延長することができました。松本委員長をはじめ、日本医師連盟の先生方のお力添えのおかげです。 ・転入院支援のための即応病床への緊急支援(一床当たり四百五十万円) ・発熱外来を公表している場合の診療報酬の追加的対応(一日につきプラス二百五十点)

医療・介護・福祉の現場への物価高騰に対する支援について(七月二十六日) 物価高騰の影響が医療・介護・福祉の現場にも出ており、光熱水費等の負担を危惧するお声を多数いただいております。本年四月に予算化された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」一兆円の取扱いのなかで、医療機関、介護施設、保育所・幼稚園・認定こども園等において、食料料金の値上げや、光熱水費の高騰が生じている場合等に、地方公共団体が「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用できる旨の事務連絡が、五月から七月にかけて厚生労働省や内閣府子ども・子育て本部、文部科学省から発出されています。しかし、事務連絡が出され

現場を支えるため、引き続き緊張感をもって取り組んで参ります。ご指導とご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。 自民党医療系議員団新型コロナウイルス対策本部緊急提言(八月五日) コロナの感染者数拡大が続くなかで、保健所や医療・介護現場に大きな負担がかかっており、重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のある方、妊婦や小児の診療等への影響も懸念されます。人的・物的資源に限界もある状況で、通常医療とコロナ医療を守るため、自民党医療系議...